

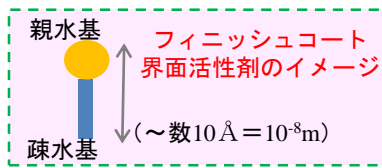
# フィニッシュコート

NETIS登録：KT-080003-VE

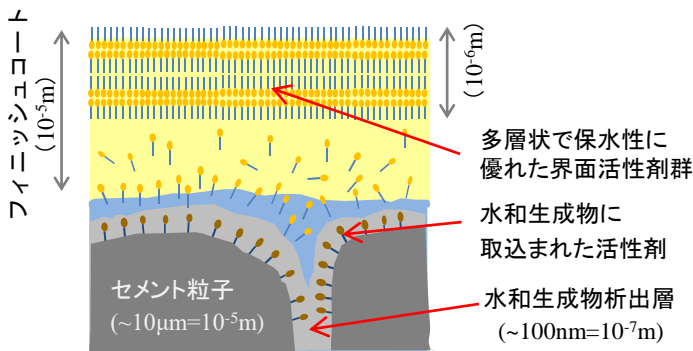
## フィニッシュコートとは

「フィニッシュコート」の主成分は、石鹼に近い分子量の小さいアニオン性界面活性剤です。コンクリートの表面仕上げ作業の効率が向上し、打込み直後から硬化初期にかけて水分の蒸発を低減してプラスチック収縮ひび割れを抑制しますが、コンクリートの付着性を低下させるような「膜」は残りません。

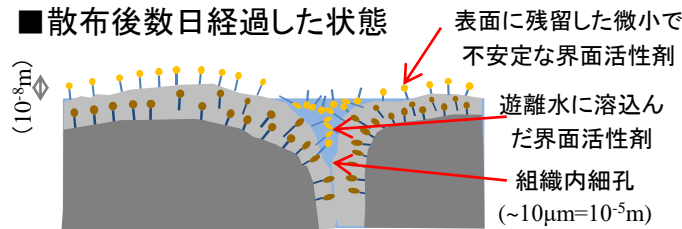
- ◆**養生機能**: 気温が高い、湿度が低い、風が強い、直射日光を受ける等の気象条件に対して、表面からの水分逸散が少なくなり、**ひび割れ抵抗性が向上**します。
- ◆**仕上機能**: コテの滑りが良くなり、**表面仕上げの作業時間が短縮**できます。特に、ブリーディングの少ない高流動・高強度コンクリートの仕上げ効率が著しく向上します。



### ■ 散布後10時間程度経過した状態



### ■ 散布後数日経過した状態



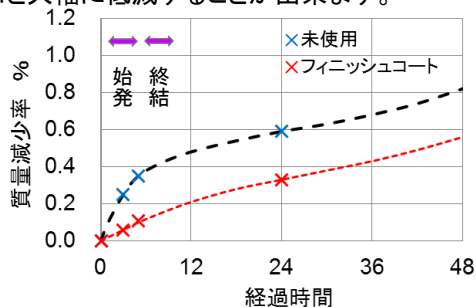
## 使用方法

- 10倍希釈(フィニッシュコート:水=1:9)を標準とします。
- 標準使用量は希釈水で、各散布150~250ml/m<sup>2</sup>とします。



## 養生効果

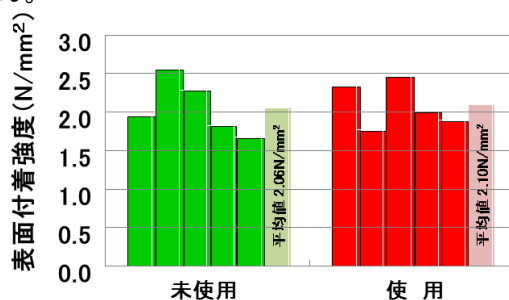
プラスチック収縮ひび割れを抑制するためには、凝結が開始するまで(3~5時間)水分蒸発を制御することが望まれます。フィニッシュコートを使用することで、水分の逸散は1/3~1/4と大幅に低減することが出来ます。



コンクリート表面からの水分逸散量試験

## 表面付着強度

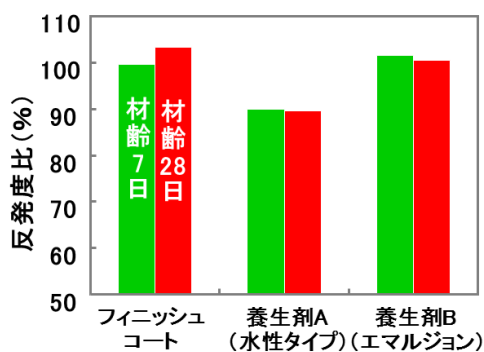
フィニッシュコートを使用したコンクリートの表面付着強度は平均2N/mm<sup>2</sup>以上と、未使用のコンクリートと同等であることを確認しました。仕上げを行う部位でも付着性能は低下しません。



建研式付着強度試験

## コンクリートの表面硬度

コンクリートの表面強度は、未使用の場合に比べて同等以上となります。数10オングストロームの微小なフィニッシュコート界面活性剤は仕上げ材とコンクリートの付着に影響を及ぼしません。



シュミットハンマーによる表面硬度試験

材齢	反発度 (N/mm <sup>2</sup> )			
	無処理	フィニッシュコート	養生剤A	養生剤B
7日	23.9 (100)	23.8 (100)	21.6 (90)	24.3 (102)
28日	22.4 (100)	23.1 (103)	20.1 (90)	22.5 (100)

※( )内はFC無処理を100とした反発度比

## 主な適用事例

◆ 国交省 北陸地整 新湊大橋 ◆

◆ 国交省 東北地整 長瀬川橋 ◆

◆ NEXCO中日本 浜北高架橋 ◆